



平成29年6月27日  
株式会社 中国銀行

## アグリビジネス支援に向けた取組みについて ～「ちゅうぎん農業ファンド」設立～

当行では、中銀リース株式会社（岡山市北区丸の内一丁目14番17号 取締役社長 坪井 宏通）株式会社日本政策金融公庫と共同で、生産の拡大や加工・販売などに取組む農業法人を支援し、地域農業の活性化を図る目的で「ちゅうぎん農業ファンド」を設立しました。

当行では、地域金融機関として本ファンドを通じて地域経済の活性化に貢献するとともに、引き続き地域の農業ビジネス発展に向け、積極的に取組んでまいります。

### 1. 「ちゅうぎん農業ファンド」の概要

名 称	ちゅうぎん農業ファンド投資事業有限責任組合
ファンド総額	10億円
運営会社 (無限責任組合員)	中銀リース 株式会社
有限責任組合員	株式会社 日本政策金融公庫 当行
投資対象	認定農業者 または認定農業者になることが確実な株式会社、特例有限会社（野菜、果樹、畜産などを生産する農業法人）
対象事業	・規模の拡大 ・異業種から農業に参入 ・財務体質の強化 ・6次産業化 など
存続期間	15年間（平成43年12月31日まで）

農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村から農業経営改善計画の認定を受けた者

以上

# ちゅうぎんはアグリビジネスを 応援します！

～2つのファンドで事業拡大をサポート～



## 農業法人向け

### ちゅうぎん 農業ファンド

〈ご利用いただける方〉

- ・認定農業者である農業法人

〈対象となる事業〉

- ・農業法人が取組む規模拡大や農業に関連する事業
- ・異業種から新規参入する農畜産物の生産事業

出資



## 農林水産業 6次産業化向け

### ちゅうぎんアグリサポートファンド

〈ご利用いただける方〉

- ・6次産業化の認定を受けた法人
- ・農林漁業者と食品加工業者等との合併事業体

〈対象となる事業〉

- ・農林漁業者と共同で新たに取組む加工・販売事業

出資



## ～ファンド（出資）とローン（融資）の違い～

ファンドとローン、どちらも企業が資金を調達する手段です。

ファンド…資本金として出資を受けます。  
一定期間返済の必要がない資金です。

ローン…借入金（負債）として資金を受けます。  
決まった期間で約定返済をするのが一般的です。

ファンドの方が、安定した資金調達ができます。

### ファンドなら

- ・約定返済がないので、長期的な事業に向いているなあ
- ・対外的な信用力の向上に繋がるなあ
- ・財務の安定に繋がるなあ



## 【ファンドの概要】

### 〈ちゅうぎん農業ファンド〉

#### 農業法人の規模拡大等がっちりサポート！！

##### ◆ご利用いただける方

- ▶「認定農業者※」である農業法人
- ▶次の①②のいずれかを満たしていること
  - ①法人設立後3年以上の実績ある農業法人の場合
    - ・経常利益が3期連続して赤字ではないこと
    - ・直近の決算で債務超過でないこと など
  - ②設立後3年未満の農業法人の場合
    - ・事業計画の実現可能性が高いこと
    - ・農業等の技術経験がある方が事業に従事していること など

◆出資期間：10年程度

◆出資者：中国銀行、中銀リース株式会社、株式会社日本政策金融公庫

### 〈ちゅうぎんアグリサポートファンド〉

#### 農林水産物の加工・販売事業がっちりサポート！！

##### ◆ご利用いただける方

- ▶「6次産業化法にもとづく認定※」を受けた事業者
- ▶農林漁業者（1次産業者）と2次・3次産業者との合併事業体
- ▶投資期間中に農林漁業者の議決権割合が、2次・3次産業者の議決権割合を上回っていること

◆出資期間：10年程度

◆出資者：中国銀行、中銀リース株式会社、  
株式会社農林漁業成長産業化支援機構

※いずれも申し込み時点で認定を取得している必要はありません。

#### 【ご留意いただきたい事項】

- ・ファンドごとに個別の審査がございます。
- ・審査には所定の期間を要します。
- ・配当等諸条件は個別にご相談ください。